

ずっと愛せる、
愛される

The reason *of Sweden House*



スウェーデンの「ずっと」を、届けたい。

この家が建てられたのは今から約

300年前。日本は江戸時代、世界

ではまだアメリカの独立も、フランス

革命も起こっていない昔のことです。

ストックホルム郊外に佇むこの家は、

1800年代には孤児院として使用

されていました。日本ならば、博物

館として公開されていてもおかしく

ないほどの歴史的建造物——けれど、

現在は普通のご家族が暮らして20年

経つ、「普通の家」なのです。もちろ

ん、保存家屋に認定されてはいます

が、家そのものの歴史に臆すること

なく、住む人は「自分の暮らし」を

楽しんでいます。

スウェーデンを訪れると、このよ

うな古い家に多く出会います。そし

てそこで、自分らしく暮らしている

たくさんの人々に会うことができます。

子ども、孫、と代々受け継いで住

む家も、この家のようにさまざまな

人が暮らし継いでいく家も、「ずっと」

愛される家であるためには、気候条

件をはじめとするさまざまな要因に

適応する高い性能と耐久性が必要で

す。また、ライフスタイルの変化に

対応できる柔軟性のあるデザインも

求められます。「住み継ぐに値する快

適な家」でなければなりません。

どれだけ月日が流れても、誰が住

んでも、快適な家。どんな家に住ん

でも快適を実現させ、暮らしを楽し

める人々：スウェーデンの「人と家の

良い関係」に、私たちは学ぶところ

がたくさんあります。

スウェーデンハウスは、高気密・

高断熱のスウェーデン住宅を日本の

気候風土や文化に合った独自のスタ

イルでお届けしています。そして、

日本にも「人と家の良い関係」がずっ

と続いていくことを願っています。